

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客受け入れ体制の整備	
担当部課名	教育委員会		事業実施 年度	平成 30	～ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の修復を行い、併せて案内解説板等の設置を行うことで観光客の利便性向上を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	2,970	1,933	1,628	4,230	10,761	
	B. 執行済額	1,687	1,933	1,628	3,166	8,414	
	うち 交付金充当額	1,349	1,546	1,302	2,532	6,729	
	執行率(%) (B/A)	56.8%	100.0%	100.0%	74.8%	78.2%	
	執行状況の説明	H30年度は螺鈿鞍(文化財)の修理と田名城の解説サイン設置を実施した。鞍は部位ごとに解体したところ、虫食いによる損傷が激しく、修理のための調査(修理工程の再検討)に時間を要し、H30年度～R2年度にかけて完了した。 R3は螺鈿鞍を展示する専用ケースとその解説板の制作、漆に関するワークショップ又は講演を計画した。展示ケース・解説板の制作は実施できた。漆に関するワークショップ・講演は講師の調整がつかず未実施となった。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	螺鈿鞍の修理	目 標	実施	実施	実施		
		実 績	実施	実施	実施完了		
	漆工芸ワークショップの開催	目 標		開催		開催	
		実 績		未実施		未実施	
	ジオガイドブック作成完了	目 標		作成完了			
		実 績		作成完了			
	螺鈿鞍の専用展示ケースの制作	目 標				作成完了	
		実 績				作成完了	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	螺鈿鞍の修復作業実施	目 標		実施	実施		
		実 績		実施	実施		
	螺鈿鞍専用展示ケースの制作(100%)	目 標				実施	
		実 績				実施	
	特別展示会の開催	目 標		実施		実施	
		実 績		未実施		未実施	
	賀陽城跡案内板設置	目 標				実施	
		実 績				未実施	

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標

【年度】

今後の取り組み方針（関連・同種事業へのフィードバック等）

【R4年度】

・現在、資料館有資格者による窓口業務や電話対応等を行なっているが、資料館の文化コンテンツの充実や文化財の資料収集・情報収集等に影響が生じているため、指定管理者制度の導入を検討し業務の運用効率化を図る。

市町村名	伊平屋村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊平屋村救急体制強化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア 危機管理体制の強化	
担当部課名	総務課	事業実施 年度	令和 3	～ 令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	緊急車両(消防車)を整備することで、消防団活動および防災体制の機能強化を図り、住民および観光客の安心安全を確保する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	46,408				46,408	
	B. 執行済額	43,023				43,023	
	うち 交付金充当額	18,000				18,000	
	執行率(%) (B/A)	92.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	92.7%	
	執行状況の説明	概ね計画通りの執行であった。予算残においては入札により92.7%の執行となった。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	○年度	○年度
	備品購入(消防車)に係る契約締結	目 標	・実施設計 ・契約締結 ・発注	供用開始			
		実 績	・実施設計 ・契約締結 ・発注	供用開始			
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R3年度	○年度	○年度	○年度
	緊急車両(消防車)1台の導入完了	目 標	納車完了				
		実 績	納車完了				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			R4年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
	伊平屋村消防団の訓練実施		目 標	12回/年				
			実 績	13回/年				
			目 標					
実 績								
状況説明	【R4年度】 ・本来災害時の被害抑制等で目標設定すべきだが、実際に災害が発生しない事には検証が困難である事から消防団の訓練実施での検証をする事とした。目標12回/年中、13回/年の実施ができており、各学校等での合同訓練も行え、車両自体の使いやすさや機動力も検証できた。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R4年度】 ・年12回の定期訓練により、車両の送水訓練・定期点検など万が一の災害に備えた訓練等を実施した。また、各学校の火災訓練・合同訓練など車両の出動により、機動性や操作性の向上を図った。				【R4年度】 ・各学校の火災訓練や合同訓練など、火災を想定した放水等により、車両の能力・機動性・操作性などすべての団員が操作できる環境を構築し、当該事業の効果を高めることができた。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R5年度】 ・当該車両を活用しての訓練を継続して行い、実際の災害時にも効果を十分に発揮できるように努める。また、定期訓練や合同訓練などを通して、団員全員が同様の操作を実施できる環境を構築する。								